



白雲はくあ 第04号 令和2年7月8日発行

コロナウイルスの蔓延が予断を許さない状況ではありますが、期末考査や、一・二年生は今年度初めての模擬試験が終わり、徐々に例年通りの一学期の感覚に戻ってきましたね。自分の目標に向かって、長期的な視点で苦手科目や分野の克服や、更なる高みを目指して頑張れる、夏季休業が近づいてきました。

さて今回の進路通信は、本校からの希望者の多い、東北大学より昨年度入試の問題作成意図と講評が、6月1日に発表されたことを受けて、本校進路指導主事の玉田先生からお話をいただきました。

東北大出題意図 ～進路指導主事より

東北大学より昨年度入試の問題作成意図・講評が6月1日に発表されました。東北大学は私たちが進学を目指す大学の一つです。ですから、作題者がどのような思いで問題を作成しているのかを知ることがとても大切なことです。大学のHPにありますので、受験生だけでなく、1・2年生も含めて全ての生徒に是非とも読んでほしいと思います。

また、採点者の講評から今後普段の授業や家庭学習の中でどのようなことに気を付けて勉強すればよいかのヒントがあります。各科目の講評より抜粋しておきます。

物理

解答用紙の「考え方や計算の過程」は採点者に自分の考えを伝えるための場所です。数式だけでなく、言葉や図などを使って、どのように考えて結果を導いたのかが伝わるような記述を心がけてください。他の人が読みやすい説明を書くことは、どのような分野でも必要となる能力です。日頃から何が重要な点なのかを意識した上で、自分が書いたものを客観的に見直すなどして、少しずつ説明する力をつけていってください。



英語

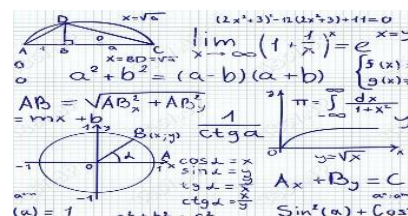
解答を終えたら最後に自分の書いた文が筋の通る日本語になっているかを点検してほしい。英文の内容や問題のポイントをつかむことができても、日本語の表現力が十分でなければ得点につながりません。



過不足なく答案を書くという技術は簡単ではありません。日頃の訓練がものをいいます。要は、母語であれ、外国語であれ、ことばを大切に読む方、書き方ができるかという点を十分に訓練してほしいと思います。

数学

字が読みにくい解答では、転記ミスからくると見られる計算間違いも少なからず見受けられました。文字が薄く + か - か判別に苦しむ解答もありました。読み易い字で書くように習慣づけましょう。



生物

実験では実験前の設計が大切であり、教科書等に載っている実験において、なぜその処理が必要かということも含めて理解するようにしてください。結果の解釈では図表を読み取る能力と、そこからさらにどのようなことが言えるのか考察することも必要です。文章量が多い問題もありますが、短時間で文章の趣旨を正確に把握し、それを基に考察しまとめる力が必要です。



化学

日頃から自然の摂理に目を向け、身の回りではどのような変化が起こっているのか、どのような反応によってできあがった材料なのか、どのような原理に基づいた現象なのか等に常に興味を持ち、考えたり調べたりすることが大切です。それによって、与えられた情報を様々な視点から解析したり、学んだ知識とどのように結び付けられるかを考察したりする能力が養われ、またそのような習慣を身に付けることができます。



以上を読んでわかるとおり、何も特別なことを書いているわけではありません。裏を返せば、これらのことが結果としてできていない生徒が多いということであり、このことができる生徒であれば東北大学に合格できる可能性が見えてくるわけです。かなりハードルが低くなったとは思いませんか？

昨年は東北大学への現役合格者は 21 名でした。これを機に東北大を目指す生徒が増え、そして受験者数・合格者数が少しでも多くなることを期待します。

学校推薦型・総合型選抜入試希望者集会

先月 6 月 10 日、進路指導部では、3 年生を対象に恒例の「学校推薦型・総合型選抜集会」を開催しました。去年に比べて、現時点では学校推薦型や総合型選抜入試を希望する生徒が非常に多く、そもそも学校推薦型や総合型選抜入試とはどういうものなのか、青森高校は、どのような生徒を推薦対象とするのか、ということから説明しました。

希望する大学の学部・学科に対する熱意や下調べはいうまでもなく、学校推薦型・総合型選抜入試で合格するために、高校生活でどんなことを意識して生活してきたか、それを裏付けする結果や実績があるか等、受験資格には書かれていなくとも、常識とされていることは多くあります。受験勉強を続けるのが嫌だから、共通テストで失敗するのがこわいから、といった「逃げ」の気持ちから、学校推薦型や総合型選抜入試を希望するのであれば決して良い結果は得られません。

三年生の学校推薦型・総合型選抜入試希望者は、集会で学んだことをこれから始まる学校推薦型・総合型選抜入試に生かし、意識を新たに、気を引き締めていきましょう。一・二年生は、現在の努力の積み重ねが三年生になった時の自分の力になること（反対も然り、です）を励みにしてください。



学びみらいPASS解説会

そして、6 月 18 日には一・二年生を対象に、講師として伊藤華余子さんに来校いただき「学びみらいPASS 解説会」を開催しました。皆さんが受験した「学びみらいPASS」の結果は、自分の興味あることを通して、できることを伸ばせば職業選択の幅が広がること、できることを伸ばすために現在勉強しているのだ、という解説に納得した人も多かったと思います。「自分の可能性を広げるために勉強している」という考え方は、まだ将来就きたい仕事が見つからない人にも、今自分が勉強している理由の一つとなると思います。自分の未知の可能性に夢を持って、学生生活を送りたいですね。

